



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年1月31日

上場会社名 株式会社デファクトスタンダード 上場取引所 東
 コード番号 3545 URL <http://www.defactostandard.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾嶋 崇遠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸尾 隆 TEL 03 (4405) 8177
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の業績 (2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	2,916	6.5	△239	—	△233	—	△162	—
2018年9月期第1四半期	2,739	2.8	22	75.5	24	78.8	16	81.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	△17.83	—
2018年9月期第1四半期	1.79	1.76

(注) 1. 当社は2018年3月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

2. 2019年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	4,214	3,411	80.9	373.78
2018年9月期	4,348	3,619	83.2	396.61

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 3,410百万円 2018年9月期 3,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	—	—	5.00	5.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2018年9月期の1株当たり配当金の内訳は、東京証券取引所市場第一部へ市場変更されたことに対する記念配当5円であります。

3. 2019年9月期の配当予想額は、未定であります。

3. 2019年9月期の業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,067	13.0	431	1.7	443	3.3	306	4.2	33.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1Q	9,140,000株	2018年9月期	9,140,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	15,016株	2018年9月期	15,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1Q	9,124,984株	2018年9月期1Q	9,017,500株

(注) 当社は2018年3月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、発行済株式数（普通株式）は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善が進み、緩やかな回復が続いております。

当社が属するリユース業界では、個人間取引でリユース品の売買を行う「フリマアプリ」の浸透などを背景に、市場全体としては広がりが見られます。一方でフリマアプリやシェアリングの流行による中古市場活況の中、ユーザーの選択肢が広がることで、サービスの選別がより厳しくなっていくことが見込まれます。

このような環境の下、当社はリユース・ブランド及びファッション商品等(バッグ、洋服、時計、アクセサリ、財布、その他)に特化した買取・販売を、「ネット専業リユース事業」及び「その他事業」として展開してまいりました。

買取面では、「売りたいけど売ることに時間をかけたくない」ユーザーをターゲットに、ブランディア独自の強みである「まとめ売り」とその「換金スピード」を訴求する新テレビCMの放送を開始し、当第1四半期累計期間における買取申し込み件数は121,595件(前年同期比3.4%減)となったものの、買取金額は2,078,734千円(同31.0%増)となりました。

販売面では、商品単価の上昇等により売上総利益率は43.2%(前年同期比9.5ポイント減)となりました。今期のテーマである自社販路強化への取り組みといたしましては、2018年10月に公式ECアプリ「ブランディアマーケット」のAndroid版をリリースいたしました。また、12月には「ブランド『買う』のもブランディア」を打ち出した初の「ブランディアオークション」テレビCMを放映いたしました。今後も自社販路の利用拡大・構成比率の引き上げを図る取り組みを行ってまいります。

費用面では、引き続き出品業務の在宅ワーク化を進め、業務人件費を削減する一方で、買取・販売両面でテレビCM等の広告宣伝を行った結果、当第1四半期累計期間における広告宣伝費は569,721千円(前年同期比13.9%増)となりました。当第1四半期累計期間から新たに販売に対する広告宣伝費を投じておりますので、広告宣伝費の内訳は、買取に対する広告宣伝費517,363千円(同3.4%増)、販売に対する広告宣伝費52,357千円となりました。

以上の結果、売上高は2,916,394千円(前年同期比6.5%増)、営業損失は239,612千円(前年同期は営業利益22,750千円)、経常損失は233,599千円(前年同期は経常利益24,678千円)、四半期純損失は162,709千円(前年同期は四半期純利益16,161千円)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① ネット専業リユース事業

ネット専業リユース事業については、引き続き広告宣伝の投下により買取商品が増加した結果、販売は増加したものの、暖冬の影響と商品単価の上昇によりセグメント利益は減少し、外部顧客に対する当第1四半期累計期間の売上高は2,743,558千円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益(売上総利益)は1,232,095千円(同12.5%減)となりました。

② その他事業

その他事業については、法人向けの卸販売よりも個人向けのインターネット販売(ネット専業リユース事業での販売)を優先したこと等により減少し、外部顧客に対する当第1四半期累計期間の売上高は172,836千円(同3.3%減)、セグメント利益(売上総利益)は26,731千円(同23.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて198,006千円減少し、3,712,198千円(前事業年度末比5.1%減)となりました。これは主に、現金及び預金が659,980千円減少したものの、商品が421,166千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて64,139千円増加し、502,340千円(同14.6%増)となりました。これは主に、繰延税金資産が71,455千円増加したものの、有形及び無形固定資産の減価償却により9,924千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて74,262千円増加し、670,424千円(同12.5%増)となりました。これは主に、未払金が114,338千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて204千円増加し、132,625千円(同0.2%増)となりました。これは資産除去債務が204千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて208,333千円減少し、3,411,488千円(同5.8%減)となりました。これは利益剰余金が208,333千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、2019年9月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,964,254	1,304,273
売掛金	276,880	323,029
商品	1,534,340	1,955,507
貯蔵品	4,308	6,083
その他	130,420	123,303
流動資産合計	3,910,204	3,712,198
固定資産		
有形固定資産	328,840	322,559
無形固定資産	16,383	15,402
投資その他の資産	92,977	164,378
固定資産合計	438,200	502,340
資産合計	4,348,405	4,214,538
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,875	54,523
未払法人税等	61,512	5,142
その他	480,774	610,758
流動負債合計	596,162	670,424
固定負債		
資産除去債務	132,421	132,625
固定負債合計	132,421	132,625
負債合計	728,583	803,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209,422	1,209,422
資本剰余金	1,119,672	1,119,672
利益剰余金	1,300,882	1,092,548
自己株式	△10,896	△10,896
株主資本合計	3,619,080	3,410,746
新株予約権	741	741
純資産合計	3,619,822	3,411,488
負債純資産合計	4,348,405	4,214,538

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,739,308	2,916,394
売上原価	1,295,593	1,657,567
売上総利益	1,443,714	1,258,827
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	500,211	569,721
その他	920,751	928,719
販売費及び一般管理費合計	1,420,963	1,498,440
営業利益又は営業損失(△)	22,750	△239,612
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	340	2,621
その他	2,016	3,559
営業外収益合計	2,356	6,180
営業外費用		
為替差損	429	166
営業外費用合計	429	166
経常利益又は経常損失(△)	24,678	△233,599
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	24,678	△233,599
法人税、住民税及び事業税	4,628	565
法人税等調整額	3,888	△71,455
法人税等合計	8,516	△70,890
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,161	△162,709

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,560,541	178,767	2,739,308	—	2,739,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,560,541	178,767	2,739,308	—	2,739,308
セグメント利益	1,408,716	34,998	1,443,714	△1,420,963	22,750

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,743,558	172,836	2,916,394	—	2,916,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,743,558	172,836	2,916,394	—	2,916,394
セグメント利益	1,232,095	26,731	1,258,827	△1,498,440	△239,612

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整しております。